

南予地区高等学校バスケットボール優秀選手に選ばれた  
南宇和高校女子バスケットボール部の若松いぶきさん



愛媛CATV  
動画



後輩へのメッセージ

最後の大会は、今までで一番良い試合ができたし、悔いの残らない試合になりました。

個性豊かなメンバーなので、毎日一緒にバスケットボールをするのが楽しかったです。次の大会に向けてがんばってください。

南宇和高校女子バスケットボール部の若松いぶきさんはチームで唯一の3年生として努力を重ねてきました。これまでの技術向上と後輩育成に努めてきたことが認められ、9月13日(日)に「南予地区高等学校バスケットボール優秀選手」として表彰されました。

若松さんは、小学2年生から10年間バスケットボールを続けてきました。小学校では一緒にプレーする同級生がいましたが、中学・高校では一人でした。

先輩が抜けて若松さんが主将となってからは、試合中の指示出しやプレーについて悩むことがありました。しかし、後輩たちが同級生のように何でも相談できるメンバーだったので、「同学年がないことがつらいと思うことはなかった」と話します。

今回の優秀選手に選ばれたことについては、「この賞をもらうことができたのは、チームのみんなが支えてくれたおかげなので、感謝しています」と笑顔を見せます。

「今後はバスケットボールで学んだことを生かして、受験に向けて、がんばっていきたい」と意気込みました。



▲ドリブルで相手陣地に切り込む若松いぶきさん(左)



▲優秀選手の表彰状を手に笑顔を見せる若松さん

編集後記

久良漁協が冬期限定で個人宅などに直販する「久良のぶり」を取材しました。漁業関係者からすると朝が早いのは当然のことですが、午前6時半に出港して漁場に向かう取材は前日から何かと準備が必要です。

この水揚げの取材も記憶にあるだけで3回目なので、去年とは違うアングルでこういう写真を撮ろうなどと考えて取材に向かいました。年末にはぜひ「久良のぶり」をご賞味ください。

南宇和高校女子バスケットボール部を取材しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、練習が十分にできなかつたり、大会が中止になったりと大変な思いをしながらも、一人でチームを引っ張ってきた先輩と、思いを受け継いだ後輩たちのがんばっている姿は、すばらしかったです。

こういった取材をどんどんしていきたいと思います。

愛南町の世帯数と人口

令和2年11月1日現在

世帯数 10,224世帯 (-8世帯)

人口 20,565人 (-21人)

男 9,736人 (-5人)

女 10,829人 (-16人)

愛南町の高齢化率 44.4%

※ ( ) 内は前月比

●10年前 同月の人口 25,392人

編集・発行